

## 「CO<sub>2</sub>削減貢献度」認証制度 <省エネ対応 自己宣言 項目(概要)>

### 産業部門(生産工場)の省エネ対策 関係

#### (1) 受変電設備、契約電力

①使用電力の実態を把握していますか。

※電力料金を減らしことに繋がる。

②使用電力の実態を把握していますか。

③基本料金を下げに努めていますか。

・電力を多く消費する設備は、計画的に起動して最大電力を抑制していますか。

・契約電力を下げに努めていますか。

・力率(りきりつ)を改善していますか。

④使用電力量を減らし(待機電力のカット等)に努めていますか。

#### (2) 空調設備

①冷暖房の温度を適正温度に選定していますか。

※冷暖房温度を1℃緩和することで、空調エネルギーのおよそ10%の省エネになります。

夏の冷房温度28℃、冬の暖房温度20℃が推奨されています。

#### (3) 照明設備

①作業場、職場の状況に合わせて適正照度になっていますか。

②明るい窓側は、昼光を利用して消灯に努めていますか。

③離席するときや不要時は、こまめに消灯に努めていますか。

④高効率の蛍光灯や電球形蛍光灯を使用していますか。

※電球形蛍光灯の消費電力は白熱灯の1/4~1/5、寿命は6倍です。

⑤照明器具、ランプを年に1~2回清掃していますか。

⑥壁、天井などを明るい内装を考えていますか。

#### (4) 給水・排水設備

①節水器具(節水コマや節水シャワー、擬音装置)などの設置で節水に努めていますか。

②量水器(休業時にパイロットが回っていないか)で漏水の有無を確認していますか。

#### (5) ポンプ・ファン (任意)

流量が変動に対応した回転数制御(インバータ制御)を導入している。

#### (6) コンプレッサー (任意)

①装置・設備に合った圧力に設定していますか。

※コンプレッサーの吐出圧を0.1MPa下げると、およそ10%の省エネになる。

②高圧エアのエア漏れを徹底して防止していますか。

③コンプレッサーは、清浄な冷氣吸引と定期的なエアフィルタの清掃を行いますか。

※吸い込み空気の温度が高くなると消費電力が大きくなります。また、空気中のゴミによってエアフィルタが詰まると負荷が大きくなります。

⑤負荷変動が大きい場合は、インバータ制御方式を導入していますか。

## (7)ボイラ設備 (任意)

①ボイラは、適正な空気比で燃焼させていますか。

※1.2～1.3(ガス燃焼の小型貫流ボイラは1.25～1.4)が適正值です。

②ボイラは、適正な容量及び台数で、蒸気は平均的に使用するよう工夫していますか。

※ボイラを低負荷で運転すると効率が大幅に低下します。

## (8)太陽光発電設置 (任意)

①将来は設置予定及び検討中)をしていますか。

# 事務部門:オフィス(生産設備を設置していない事務・営業部門等)の省エネ対策 関係

## (1)受変電設備、契約電力

①使用電力の実態を把握していますか。

※電力料金を減らしことに繋がる。

②使用電力の実態を把握していますか。

③基本料金を下げに努めていますか。

・電力を多く消費する設備は、計画的に起動して最大電力を抑制していますか。

・契約電力を下げに努めていますか。

・力率(りきりつ)を改善していますか。

④使用電力量を減らし(待機電力のカット等)に努めていますか。

## (2)照明設備

①作業場、職場の状況に合わせて適正照度に行っていますか。

②明るい窓側は、昼光を利用して消灯していますか。

③離席するときや不要時は、消灯していますか。

④高効率の蛍光灯や電球形蛍光灯を使用していますか。

※電球形蛍光灯の消費電力は白熱灯の1/4~1/5、寿命は6倍です。

⑤照明器具、ランプを年に1~2回清掃していますか。

⑥壁、天井などを明るい内装を考えていますか。

### (3)空調設備

①冷暖房の温度を適正温度に選定していますか。

※冷暖房温度を1℃緩和することで、空調エネルギーのおよそ10%の省エネになります。

夏の冷房温度28℃、冬の暖房温度20℃が推奨されています。

### (4)事務用機器

①事務用機器を選ぶ際は、消費電力の少ない高効率機器、待機電力の小さい機器を選択していますか。

②コピー機、パソコン、プリンタなどの事務用機器は、使用していないときも待機電力を消費していますか。休憩時間や終業時には電源をオフにして節電していますか。

### (5)テナントビル（任意）

①テナントビルの省エネをビルオーナーと省エネ推進していますか。

②ビルオーナーとテナントが、省エネルギー効果を共に享受できる賃貸契約にしていますか。